

平成21年度 冬の学習会 を開催!

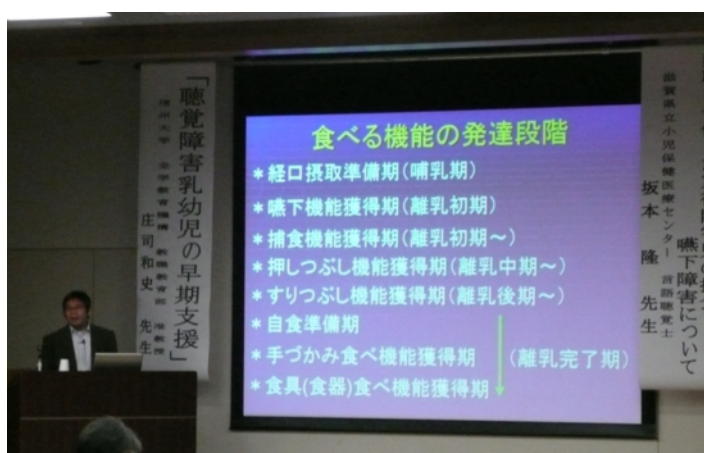
1月29日(土) 滋賀県の南草津駅からすぐ近くの「草津市立市民交流プラザ」を会場に、100近い先生方の参加のもと平成21年度冬の学習会が開催されました。講演は2つあり、1つは滋賀県立小児保健医療センターの坂本隆先生による「難聴を合併した重複障害児の摂食・嚥下障害について」、もう1つは信州大学の庄司和史先生による「聴覚障害乳幼児の早期支援」という講演でした。

『難聴を合併した重複障害児の摂食・嚥下障害について』

講師:滋賀県立小児保健医療センター 療育部
言語聴覚士 坂本 隆 先生

滋賀県立小児保健医療センター療育部の概要についての説明の後、摂食の発達の様子・嚥下の仕組みについて図やVTRを使ってとてもわかりやすく説明をしてくださいました。また、摂食・嚥下障害の原因となる疾患で、聴覚障害を伴う可能性のあるものを紹介いただき、摂食・嚥下障害への支援の実際について間接的な支援(訓練)や直接的な支援(訓練・介助)について具体的にお話をいただきました。

最後に聴覚と摂食・嚥下障害の重複障害の症例についていくつかあげていただき、具体的な支援と経過についての紹介をしていただきました。



『聴覚障害乳幼児の早期支援』

講師:信州大学 全学教育機構 教職教育部
准教授 庄司 和史 先生

新生児聴覚スクリーニングでお子さんの聴覚障害がわかった保護者が、リファーマと言われた時、精密検査を待っている時、確定診断を受けた時にどのように感じたのか、また各機関からの支援に関する満足感、印象に残った出会い等についてアンケート調査された結果をお話いただきました。

そして、新生児スクリーニングの普及や人工内耳の進歩と広がり、あるいはさまざまな社会状況の変化から保護者への教育的支援の変化が起こっていることから、保護者の障害受容のために、聴覚や聴覚以外の障害の疑似体験により障害を持つ子どもたちの心理を体験・理解させるという支援の様子をVTRで見せていただきました。

最後に0歳児の言語発達への支援として、ベビーサインの活用を含め前言語期に何をすべきかについてもお話をいただきました。



詳しくは集録をご覧ください。

来年度の予定

平成22年度の予定が1月の代表委員会で審議されました。

講演会・講習会とも例年通り実施する予定です。皆さんふるってご参加ください。

第1回代表委員会	平成22年 5月	大阪市立聾学校
第2回代表委員会	平成22年 8月18日(水)	大阪府立生野聴覚支援学校
第12回講演会・講習会	平成22年 8月19日(木)	大阪府立生野聴覚支援学校
	8月20日(金)	午前 ホテルアウリーナ大阪 午後 大阪府立生野聴覚支援学校
秋の講演会	平成22年10月30日(土)	大阪市内
第3回代表委員会	平成23年 1月28日(金)	奈良県担当
冬の学習会	平成23年 1月29日(土)	奈良県担当

平成22年度の研究会等の予定

補聴器勉強会 5月29日(土)、30日(日) クレオ大阪中央

近畿教育オーディオロジー
研究協議会事務局

事務局長 中井 弘征

〒639-1122

TEL:0743-56-2921

奈良県大和郡山市丹後庄町456

FAX:0743-56-8833

奈良県立ろう学校内

メール:h-nakai@indigo.plala.or.jp